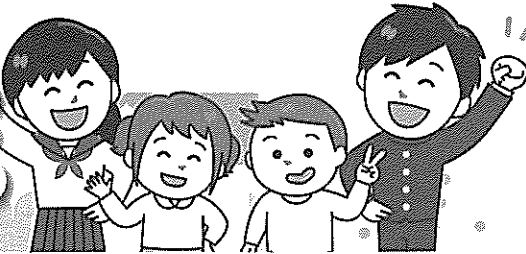


広げよう笑顔の輪 励まし育てよう青少年



健全育成広報紙 「ゴリラ」

「ゴリラは家族を
まもるんだよ。」

ゴ：ごきげんな
リ：理想の
ラ：ライフを...



一人で悩まず困りごとが あれば、お電話を!

- ◆大河原町教育委員会 ☎(0224) 53-2742
- ◆少年相談ダイヤル ☎(022) 222-4970
- ◆いじめ110番 ☎(022) 221-7867
- ◆大河原教育事務所 ☎(0224) 53-3111
- ◆大河原警察署 ☎(0224) 53-2211

コロナに負けないぞ!

◎新しい生活様式を学び

- 3密を避け
- 人混みはマスク
- 手洗い・うがいをして



手洗いの6つのタイミング

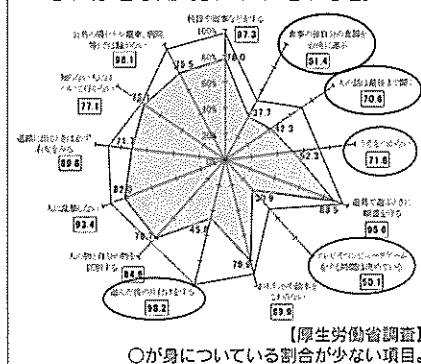


命を守るんだ!!

しつけを考えよう!(体罰によらないしつけを!!)

しつけは、子どもの人格や才能を伸ばし自立した社会生活を送れるようにサポートしていくことです。頬を叩く、長時間正座させる、宿題をしないので夕食を与えないなどは、全て体罰です。犯罪になります。では、体罰によらない「しつけ」をするには、どのようにすればよいのでしょうか。草木が芽を出し生長するためには、水や肥料をタイミングよく与えるとよく伸びます。私たち人間も自然の中で生きる生き物として同じ側面をもっています。言葉の分からない子に頭ごなしに怒っても、通じることは少ないでしょう。逆に、分かる子に幼子の扱いをすると、「馬鹿にするな」と嫌になることでしょう。まずは、子どもをよく見て、時には子どもの目線で考えてあげることだと思います。適切な言葉掛けが大切です。「嫌だ。」も子どもの意思表示と思うくらいの余裕を持って、怒らなくてもよいように、子どもの周りの環境を整えてあげることが大切です。厚生労働省の「しつけ」に関する調査によると「テレビやゲーム、後片付け、話を聞く、うそをつかない子に育てる」ことが、低い値にあります。つまり、日本中の保護者が苦労しているのが分かります。頭ごなしに怒らず「遊びたいのは分かるけど、後片付けをしてみんなでご飯にしようね。」のような共感的な言葉を使い、自発的に行動出来るように保護者自らが手本を示していきましょう。出来たときにはたっぷりと褒め、習慣化できるよう励ましていくことが大切です。困ったときには、行政や教育機関等の相談を受けるのも方法の一つです。

しつけをした・身につけている割合



みんなで守る子どもたちの安全!

コロナウイルス感染防止対策のため、始業式、入学式以外は臨時休校になりましたが、登校日には多くの方々に見守られ、安全に登校することができました。今年も民生委員児童委員協議会、防犯連絡協議会、防犯指導委員、交通安全指導委員、本町一区子どもの安全を守る会、自衛隊OB隊友会、各小学校見守り隊の皆さんが、児童生徒の皆さんの登下校の安全を見守ります。

自分で「止まる。見る。確認して行動する。」を第一に、安全意識を身につけていけるよう声かけをお願いします。

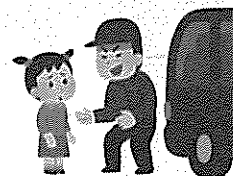


いざという時のために

子ども110番の家

こども110番の家は、子どもたちが登下校中に何かしらの犯罪被害に遭いそうになった場合に、助けを求めるために駆け込む「民家、店舗、施設」などです。地域の皆様のご協力により左記のプレートを表示しております。町内149箇所に設置してあります。登下校中にある「こども110番の家」のプレートを確認いただき、いざという時には、ためらうことなく逃げることを教えていただきたいと思います。もちろん、さらに急を要する場合は、大きな声で通行人や近くの店に助けを求めることも大切なことです。

プレートが新しくなりました



宮城県でも自撮り被害が増えています。被害の多くは、中高生です。

情報機器にはフィルタリングをかけ、困ったときには、すぐに相談を!!